

◆市の木…ヤマザクラ…写真左
ヤマザクラは本州(関東地方以西)
四国・九州に分布する代表的な桜。



◆市の花…リンドウ…写真右
リンドウは野山に自生するリンドウ科
の耐寒性の多年草。



◆鎌倉市の一覧

- ・出生 3.0 人
- ・死亡 5.2 人
- ・結婚 1.8 組
- ・離婚 0.7 組
- ・転入 19.9 人
- ・転出 19.0 人
- ・火災 0.1 件
- ・交通事故 1.6 件
- ・救急車出動 28.3 件
- ・刑法犯罪 2.0 件
- ・ごみ搬入量 105.1t

※姉妹都市
・萩市
・上田市
・足利市
・ニース市
※友好都市
・敦煌市

◆市民生活…29年版鎌倉の統計より

- ・人口密度 4,342.9 人(1km²当たり)
- ・1世帯当り人数 2.3 人
- ・市民 1 人当り一般会計予算 347,255
- ・納税義務者 1 人当所得 4,567 千円
- ・1 商店販売額 13,018 万円
- ・乗車 1 世帯当り台数 0.6 台
- ・医師 1 人当り市民数 303.3 人
- ・医院 1 院当り世帯数 398.5 世帯
- ・病床 1 床当り市民数 80.5 人
- ・消防車両 1 台当り世帯数 1,108 世帯
- ・市職員 1 人当り市民数 154 人

◆鎌倉市の人口 (29年10月1日現在)

- ・市全体-172,284 人、73,666 世帯、39.53km²
- ・鎌倉地域- 46,581 人、20,145 世帯、14.22km²
- ・腰越地域- 24,257 人、9,964 世帯、4.21km²
- ・深沢地域- 33,582 人、14,187 世帯、8.22km²
- ・大船地域- 42,999 人、19,257 世帯、8.40km²
- ・玉縄地域- 24,865 人、10,0113 世帯、4.48km²

- *昭和 25 年 85,391 人、19,344 世帯←23 年に深沢村・大船町編入
- *昭和 35 年 98,617 人、23,828 世帯←このあたりから急増加
- *昭和 50 年 165,552 人、49,060 世帯←このあたりから変動幅縮小
- *昭和 62 年 176,358 人、60,053 世帯←人口ピークの年

◆平成 29 年度 市の決算状況

- ・一般会計歳出…582 億 9,723 万円(28 年度:604 億 5,207 万円)
- ・特別会計歳出…505 億 4,302 万円(前年度 2.7%増加)
- ・市債残高…838 億円(一般会計+特別会計+公社+PFI)

・職員数…1,354 人(平成 29 年 4 月 1 日現在再任用フルタイム含)

◆メンタル比率 No.1

本市職員のメンタル不調による 90 日を超える休職者数は、平成 26 年度は 31 名でその割合は 2.28% です。神奈川県内 17 市平均値が 1.01%です。←この状況はさほど変化なしです。

鎌倉市議会・〒248-8686 御成町 18 番 10 号 (完全無所属)

電話 0467-23-3000(市役所代表) 自宅:極楽寺 2-6-10-201

114 号3期目 15 号(1 月号) 鎌倉市議会議員・長嶋竜弘



富貴を望まず

我人に媚びず



長嶋HP

※メール
kamakura
asi@gmail.com

- ・稲村ガ崎小学校卒
- ・御成中学校卒
- ・茅ヶ崎高校卒
- ・和光大学卒
- ・元(株)西友社員

◆12月定例会報告…多くの事がありました→12月ブログで掲載しています!

○千田勝一郎氏を副市長に選任

- ・黒岩知事特別秘書,菅官房長官元秘書
 - ・2007 年参議院岩手で立候補。
 - ・鎌倉とは無縁。行政手腕は未知数。
 - ・鎌倉市政現状の理解度は???
- 「まずはお手並み拝見といきましょう」



○資生堂工場跡地の市が寄付される土地

活用優先候補者が鳩サブレー豊島屋に決定…まだ寄付を受けていない段階で11/19日経新聞に掲載されて皆が驚きました。出来レースでは?と各方面に大きな波紋が広がっています。鎌倉への本社登記や起業を促す為に民間に貸すならわかるが、市民の財産を何故一民間企業に貸すのか?例えば市民活動センター、シルバー人材センター、図書館、休日夜間診療所等、現状場所がなくて困っているような公共利益に繋がる事に使うべきでは?マンション建設事業者、近隣住民に理解は得られるのか?→12/31 blog

○松尾市長選挙違反陳情が委員会で議決不要判断→12/10 blog

前回市長選挙時の市長公選法違反の件で陳情が出されました。陳情要旨は、事実を明らかにする事と、選管と松尾市長の怠慢な対応の是正を求めたものです。選挙違反をした事は証拠写真と動画があり、明白な事実です。しかし、総務常任委員会で判断せず。葬りられました。

議決不要判断→山田直人、伊藤倫邦(自民)、飯野真毅(立憲)

継続審査判断→高野洋一、採択の判断→くりはらえりこ、長嶋竜弘

◆おなり子どもの家・設計修正業務 10,703 千円予算削除可決



12/25blog

✖ 予算削除修正案反対(10名 敬称略)
夢プロジェクトの会(高橋,日向,永田磨梨奈)
鎌倉みらい(池田実,山田直人,前川綾子)
共産党(吉岡和江,武野裕子,高野洋一)
立憲民主党(飯野まさたけ)
退席:自民党(伊藤倫邦)
←は県議会議員選挙立候補予定

(反対議員はこの建物を修繕する事を選択↑)

市役所前の骨組みの建物を皆さんご覧になりましたか？白ありによる腐朽で酷い状態ですが、4億円かけて修繕する為に設計業務予算が提案されました。この計画を止めて、新築で建てる為に長嶋が提案者となり、設計業務予算の削除修正案を提案して可決しました。今後→①旧図書館意匠を残し津波対応高床式で新築 ②第三分庁舎横駐車場に新築←予算提案を求める。

※理由を4点述べました

- ①旧図書館の建物は白あり等による腐朽が激しく、おなり子どもの家として活用する為の改修工事には4億400万円と膨大な費用がかかる事。
- ②神奈川県から平成27年3月に公表された津波浸水想定が変わり、当該用地は1m~2m未満の浸水想定である事が最近発覚した事。
- ③この建物ではエレベーターの設置が出来ずバリアフリーにはならないので、車椅子の児童の利用に制約がある事。→この事は鎌倉市が共生条例制定に向け取り組んでいる事と矛盾する。
- ④調査委員会の結果が出ないと損害賠償を求めるかどうか分らず、現段階では先行きが見通せない。今後損害賠償となると証拠保全をしなければならぬ可能性もあるので、完成までの時間が更に延長される懸念がある。

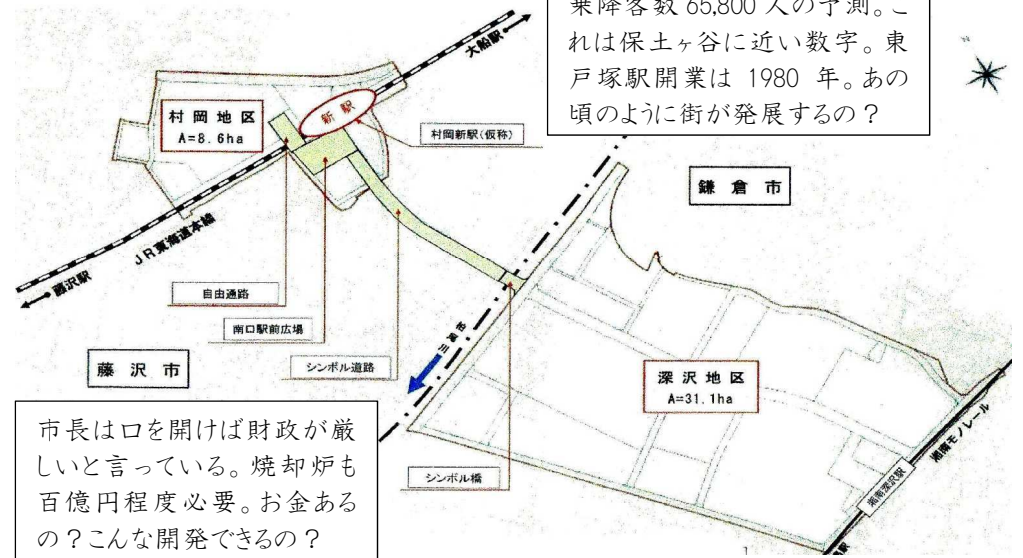
▼鎌倉市役所幹部職員の驚きの答弁

おなり子どもの家の場所は、1~2mの津波浸水想定区域になっていますが、斎藤行政経営部長、進藤こどもみらい部長二人とも「問題無い」と答弁。

◆東海道線村岡新駅発表、無責任な政治パフォーマンス

年末大きく報道されましたが新駅の話は30年前からある。事業主体のJRがまだやるとは言っていない。こうした発表は中身を固めてからするべきです。皆さん、騙されないでください。新駅が決まった訳ではありません。

■まちづくりと新駅の概要図



- ・全体の事業費が見えてこない→新駅事業費 160 億円、深沢区画整理事業 205 億円、本庁舎移転 180 億円←不確定要素が多く一体何億かかるのか？
- ・医療の新拠点と言っているが武田薬品以外の中身なし。
- ・モノレールの営業は大きな影響を受ける。東海道線が更に混雑する事になる。
- ・近隣道路、県道の整備の計画なし。鎌倉古道の跡が整備で消えてしまう。
- ・バス網の計画が不明。深沢地域整備事業の中身が不確定。
- ・計画規模降雨 302mm で浸水する場所。ゆるい地盤で杭打ち 30m 以上必要。
- ・道路、駅前整備で近隣の立ち退きの承諾を得られるのか不明。
- ・市民意見を聞かないで市長が勝手に言っているが藤沢市側の温度は低い。

JR がやるかどうかは乗車客数増で収益増になる事が必要。藤沢・大船駅混雑解消の為の分散化では無い。近隣開発による人口増加、商業施設の誘致等で客数が大幅に増えないと難しい。深沢 JR 工場跡地の JR 所有部分の地代を上げる狙いもあるのか？でも東京までの区間の電車はパンク状態です。

そもそも鎌倉市民の誰が望んでいるのか？一部の人だけ？大変疑問である。都市計画決定は早くも 2021 年、整備はそれから 10 年かかる。2031 年、知事も市長もその頃には変わっているだろう。現状では私は賛成できる内容ではない。